

朝鮮朝後期の社会と思想



[朝鮮朝後期の社会と思想 下载链接1](#)

著者:川原秀城

出版者:勉誠出版

出版时间:2015-2-18

装帧:平装

isbn:9784585226451

一五九二年(朝鮮・宣祖二十五年)の豊臣秀吉による朝鮮出兵、一六二七年(仁祖五年)、一六三六年(同十四年)の二度にわたる後金(清)軍の朝鮮侵攻—この倭乱・胡乱の戦禍は大きく、朝鮮社会に変容を迫るものであった。朝鮮史・東アジア史の画期たる朝

鮮朝後期を多角的に検証し、政治・経済・対外関係などの動向、それらの変容と展開の底流に流れる思想的背景を探る。

作者介绍:

目录: 序言 朝鮮朝後期の社会と思想 川原秀城
士林派と士禍言説の成立 吉田光男
大同法の歴史的意義と地方財政におけるその運用実態 六反田 豊
朝鮮前期における対日外交秩序―その新たな理解の提示― 木村 拓
朝鮮の対後金貿易政策 辻 大和
『満文原』にみえる朝鮮国王の呼称 鈴木 開
宋時烈の朱子学―朝鮮朝前中期學術の集大成 川原秀城
慎後のカトリック教理書批判―『遯窩西学辨』に見るその思想的争点 金 光来
樗村沈における華夷観念と小中華思想 中 純夫
朝鮮目録学の今日 藤本幸夫
・ ・ ・ ・ ・ (收起)

[朝鮮朝後期の社会と思想_下载链接1](#)

标签

思想史

历史

东亚史

韩国

朝鮮王朝

朝鮮半岛

明史

文化史

评论

[朝鮮朝後期の社会と思想 下载链接1](#)

书评

[朝鮮朝後期の社会と思想 下载链接1](#)